

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 655 2022年 5月号 1部60円 友の会会員は会費に含まれています 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

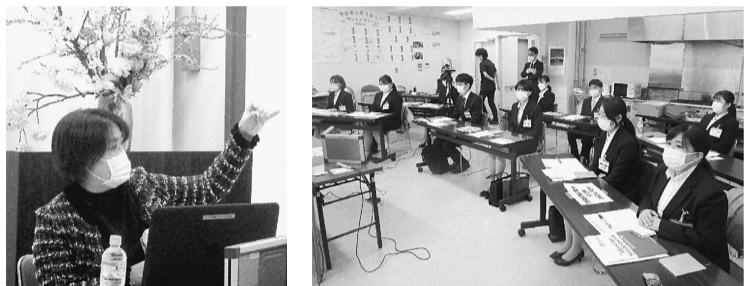
安心して医療を受けられる 無差別平等の医療を目指して

新入職員11人が代々木病院へ入職

4月1日、東京勤労者医療会で入職式が行われ、東葛病院をメイン会場、代々木病院、みさと協立病院をリモート会場として行われました。代々木病院では新入職員11名を迎え、3日間の入職オリエンテーションを行いました。オリエンテーションの一部をご紹介します。(編集部)

代々木病院の歴史

代々木病院澤田事務局長を講師に「代々木病院の歴史」について学びました。代々木病院は、戦後間もない1946年に診療所として開設され約75年の歴史があります。1980年代は250床の



「代々木病院の歴史」を熱く語る澤田事務局長。熱心に聞く新入職員

『ヒューマニズムに基づく医療』を理念に、働く人々が病気になる時に経済的な心配なく安心して医療を受けられる無差別平等の医療を目指し取り組んできました。人権を守る医療、差額ベッド代なしを堅持、無料低額診療事業も行っています。被爆者医療では原爆医療法制定前から被爆者の診療や健診を行ってきました。透析医療では1970年血液透析治療開始と共に代々木病院腎友会が結成、翌年の全腎協結成に尽力し、1972年更正医療の適応となりました。人権を守り社会復帰の支援として精神科医療

にも力を入れてきました。最後に、新入職員に「患者・利用者さんの思いに共感し、常に社会に

地域フィールドワーク 明治神宮外苑散策

地域フィールドワークとして明治神宮外苑の散策を行いました。外苑の銀杏並木通りに集合し、代々木健康友の会の布施会長をガイドに神宮外苑の歴史から現在の概要について聞きました。この



銀杏並木で説明を聞く

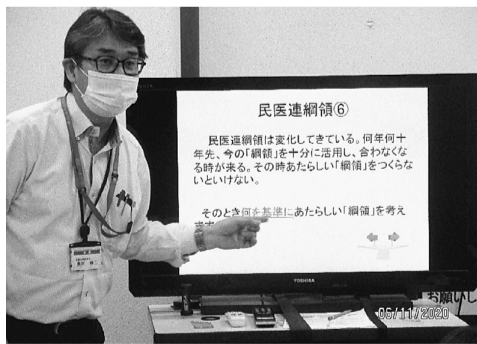
3日目は「民医連綱領」について奥村事務次

民医連綱領の話

3日間の入職オリエンテーションを受けた新入職員から「3日間の研修を通して、民医連や代々木病院、健康友の会について、また地域との関係性について学びました。印象に残ったのは代々木病院では目の前の医療だけでなく、地域や社会間にも目を向けていることを実感したことです。

「地域や社会問題に目を向ける」「無差別平等の医療大切に」

話を聞いた後、銀杏並木通りを出発点に聖徳記念絵画館、国立競技場などを案内してもらいました。国立競技場は学徒出陣式の会場だったことと「学徒出陣の碑」が建立されていることも学びました。



民医連綱領の説明をする講師の奥村事務次長

昨年一月二日に発効された核兵器禁止条約は、三月二十四日現在コートジボワールが批准し六〇ヶ国に、政府の署名した国は八六となりました。国連は六月にオーストリアのウィーンで開かれる核兵器禁止条約第一回締約国会議に、すべての国連加盟国を招請しました。もちろん条約に参加していない日本にもオプザーバー参加を呼びかけています。この会議の重要議題は核実験による被ばくなどの被害者救済と環境回復策。日本は唯一の戦争被爆国でありながら参加に消極姿勢のまま。その姿勢が世界から問われています。今年一月三日、ロシアを含む核兵器を保有する五カ国が「核保有国五カ国のリーダー」による、核戦争を防ぎ、軍拡競争を避けることについての共同声明」を発表したにもかかわらず、プーチン大統領はウクライナ侵攻にあたり「核兵器使用も辞さない」と明言しています。「核戦争に勝者はなく、決してその戦いはしてはならないことを確認する」としているのに、です。意見があるなら話し合いを。武力に任せるのは大きな誤りです。世論で包圍していきましょう (み)

千駄の萱

昨年一月二日に発効された核兵器禁止条約は、三月二十四日現在コートジボワールが批准し